

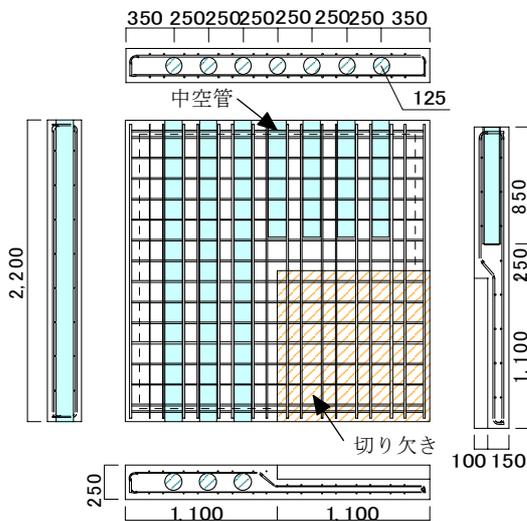
段差付き中空スラブ

実験目的

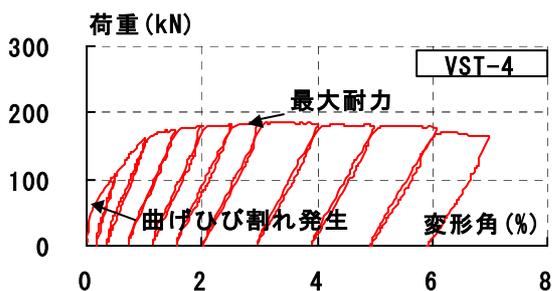
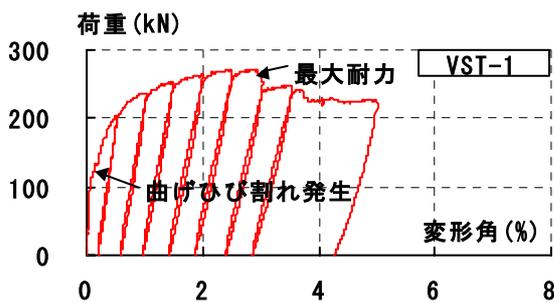
バリアフリーの床を創るためには、床自体を段差付き中空スラブとすることが最も経済的である。床の段差位置の変化による、段差付き中空スラブの力学的性状を確認する。

試験体概要

試験体名	試験体の寸法 (mm)	スラブ厚 (mm)	管径 (mm)	切り欠き位置
VST-1	2200×2200 (支点間距離 2000×2000)	250	125	コーナー部
VST-2				辺中央部
VST-3				コーナー部
VST-4	2000×2000	150	75	コーナー部
VST-5				辺中央部



VST-1 配筋図



荷重－変形角曲線



実験終了時試験体状況

実験結果

スラブ厚 250mm では、段差の位置によって各種耐力・ひび割れ状況が異なることを確認した。

スラブ厚 150mm では、段差の有無によって各種耐力・ひび割れ状況が異なることを確認した。

いずれも、通常の使用における安全性は非常に高く、段差付き中空スラブの実用設計が可能なことを確認した。

現在、多くのマンションで採用されている。